

宇都宮共和大学子ども生活学部履修規程

(趣旨)

第1条 この規程は、宇都宮共和大学学則第30条の規定に基づき、子ども生活学部子ども生活学科の授業科目の種類、単位数及び履修方法、教育職員免許状及び保育士資格に関する事項を定める。

(教育課程)

第2条 教育課程は、次のように編成する。

- 一 授業科目の区分は、基礎教育科目及び専門教育科目とする。
- 二 それぞれに必修科目、選択必修科目及び選択科目を置く。

(授業科目、単位数及び卒業単位、履修方法等)

第3条 各授業科目の時間数と単位数、および授業形態は、別表1のとおりとする。

- 2 卒業に必要な単位数は、基礎教育科目は必修2科目4単位および選択必修科目7科目14単位のうち3科目6単位以上を含む22単位以上、専門教育科目は必修9科目20単位および選択科目89科目129単位のうち82単位以上、合計102単位以上、合わせて124単位以上を履修しなければならない。
- 3 履修科目の年間登録の上限は、1年次49単位、2年次49単位、3年次49単位、4年次49単位とする。
- 4 既に単位を修得した授業科目及び上級年次配当の授業科目は履修することができない。
- 5 下級年次配当の授業科目は、自由に履修することができる。
- 6 教育職員免許法の規定により幼稚園教諭一種免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法及び同法施行規則に規定する科目(教職に関する科目;別表2)の単位を修得しなければならない。また、児童福祉法の規定により保育士資格を取得しようとする者は、指定保育士養成施設指定基準に規定する科目(保育士資格に関する科目;別表3, 4, 5)の単位を修得しなければならない。
- 7 「保育実習」、「教育実習」、「卒業研究」に関する履修は別に定める。

(単位計算の基準)

第4条 単位計算の基準は、学則第23条の規定による。

(授業時間割表の公示)

第5条 毎学年の授業科目、担当教員及び授業時間割表は、学年の始めに公示する。

(履修授業科目の届出)

第6条 学生は、履修しようとする授業科目を毎学期の始め所定の期日までに学部長へ届出て承認を得なければならない。

(履修授業科目の修了認定及び評価)

第7条 履修した授業科目については、合格した者に単位を与える。

- 2 成績の評価は、学則第29条の規定による。成績表示は4段階とし、A・B・Cを合格、Dを不合格とする。

表示	A	B	C	D
評点	100～80点	79～70点	69～60点	60点未満

(不合格授業科目)

- 第8条 不合格授業科目について、単位を取得しようとするときは、第9条第3項及び第4項の場合を除き、次の学期以降にあらためて履修の上、合格しなければならない。

(試験)

- 第9条 定期試験は、特別の事情のある場合を除き毎学期末に行う。

- 2 授業の出席時間数が当該授業科目の総時間数の3分の2に達しない者については、原則として受験資格を与えない。
- 3 定期試験を病気又は事故等やむを得ない事由により受験できなかった者に対しては、本人の願い出により追試験を行う。
- 4 定期試験の結果、不合格となった授業科目について、再試験は原則として行わない。ただし、卒業年次の学生で別に定める要件を満たす者に限り、本人の願い出により再試験を行うことがある。
- 5 追・再試験を受験する者は、願書に所定の受験料を添えて申し込まなければならない。ただし、公欠の場合、受験料は必要がない。
- 6 担当教員が必要と認めた場合は、臨時試験を行うことがある。

(成績通知書)

- 第10条 学期毎の科目履修の結果については、毎学期末に成績通知書を交付する。ただし、卒業年次の学生については、卒業式当日までに交付する。

(進級)

- 第11条 第2学年から第3学年への進級にあたっては、41単位以上を修得していなければならない。

(不正行為)

- 第12条 第9条に規定する試験において不正行為を行ったと認められた者は、学則第41条の規定に基づき懲戒処分を受けるものとする。

- 2 不正行為を行った者に対しては、行為の軽重により、懲戒処分内容を本人及び保証人に通知又は学内に公示するほか、当該試験科目無効又は当該試験期の全試験科目無効等の取扱いを受けるものとする。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

別表 1

宇都宮共和大学子ども生活学部子ども生活学科カリキュラム

科目区分	授業科目の名称	配当年次	時間数	単位数			授業形態			履修方法 (卒業要件)
				必修	選択	自由	講義	演習	実習・実技	
基礎教育科目	子ども生活学概論	1前	30	2			○		基礎教育科目については、必修科目を含め、22単位以上を履修すること。 うち3科目6単位以上を必修。	
	現代の教養講座Ⅰ(いのち・こころ・からだ)	1前	30		2		○			
	現代の教養講座Ⅱ(共感・信頼・共生)	1後	30		2		○			
	現代の教養講座Ⅲ(個・集団・社会)	2前	30		2		○			
	現代の教養講座Ⅳ(美・宗教・自然)	2後	30		2		○			
	生活講座Ⅰ(子どもと生活科学・食育)	1前	30		2		○			
	生活講座Ⅱ(子どもと生活文化)	1後	30		2		○			
	生活講座Ⅲ(子どもの生活と経済・経営)	2前	30		2		○			
	職業と家庭生活の設計	1後	30	2			○			
	子どもの生活史	1後	30		2		○			
	人間とは何か	1前	30		2		○		基礎教育科目	
	人間と心理	1後	30		2		○			
	コミュニケーションの心理学	2後	30		2		○			
	環境と共生	3後	30		2		○			
	子ども文化論	3前	30		2		○			
	少子高齢社会と福祉	3後	30		2		○			
	日本国憲法	1前	30		2		○			
	都市社会学	1前	30		2		○			
	現代日本史	1後	30		2		○			
	食品の消費と流通	1後	30		2		○			
	教養演習科目	生活技術演習Ⅰ	1後	30		1		○		基礎教育科目
		生活技術演習Ⅱ	2前	30		1		○		
		スポーツと健康Ⅰ	1前	15		1		○		
		スポーツと健康Ⅱ	1後	30		1			○	
		オーラルイングリッシュⅠ	1前	30		1		○		
		オーラルイングリッシュⅡ	1後	30		1		○		
第二外国語Ⅰ(フランス語)		1前	30		1		○			
第二外国語Ⅱ(フランス語)		1後	30		1		○			
第二外国語Ⅲ(中国語)		1前	30		1		○			
第二外国語Ⅳ(中国語)		1後	30		1		○			
第二外国語Ⅴ(韓国語)		1前	30		1		○			
第二外国語Ⅵ(韓国語)		1後	30		1		○			
情報処理入門Ⅰ		1前	30		1		○			
情報処理入門Ⅱ		1後	30		1		○			
小 計				4	50	0	21	12	1	専門教育科目については、必修科目のほか選択科目のうちより82単位以上を履修すること。
専門教育科目	保育の本育理解・教育目	保育原理	1前	30		2		○		
		教育原理(小学校との連携を含む)	2前	30		2		○		
		教職概論(保育者論)	3前	30		2		○		
		教育制度	3前	30		2		○		
	対保育の理解教育の	発達心理学	2前	30	2			○		
		保育の心理学	2後	30		1		○		
		発達支援論	3前	30		2		○		
		発達臨床心理学	4前	30		2		○		
		教育心理学	2後	30		2		○		
		子どもの保健Ⅰ	2前	30		2		○		
		子どもの保健Ⅱ	2後	30		2		○		
		子どもの保健Ⅲ	2後	30		1		○		
		子どもの食と栄養Ⅰ	2前	30		1		○		
		子どもの食と栄養Ⅱ	2後	30		1		○		

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	時間 数	単位数			授業形態			履修方法 (卒業要件)
				必修	選択	自由	講義	演習	実習・実技	
保育と教育	保育内容総論	1後	30		1			○		
	保育内容 自然・環境	2前	30		1			○		
	保育内容 健康	2前	30		1			○		
	保育内容 言語	2後	30		1			○		
	保育内容 身体表現	2前	30		1			○		
	保育内容 造形表現	2後	30		1			○		
	保育内容 音楽表現	2後	30		1			○		
	保育内容 人間関係	2前	30		1			○		
	保育指導法Ⅰ	3後	30		1			○		
	保育指導法Ⅱ	4前	30		1			○		
	保育内容基礎演習Ⅰ	3集中	30		1			○		
	保育内容基礎演習Ⅱ	4集中	30		1			○		
	保育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)	3後	30		2		○			
	幼児教育課程論	3前	30		2		○			
	乳児保育論	2前	30		2		○			
	乳児保育演習Ⅰ	2後	30		1			○		
	乳児保育演習Ⅱ	3前	30		1			○		
	フィールドワークⅠ	1集中	30		1			○		
	フィールドワークⅡ	2集中	30		1			○		
	専門教育科目	家庭支援論	3前	30		2		○		
家庭支援演習		3後	30		1			○		
家庭教育論		2後	30		2		○			
社会福祉		2前	30	2			○			
児童家庭福祉		1後	30	2			○			
社会的養護		2前	30		2		○			
障害児保育論		3後	30		2		○			
障害児保育Ⅰ		3後	30		1			○		
障害児保育Ⅱ		4前	30		1			○		
社会的養護内容		2後	30		1			○		
地域と子育て支援	相談援助	2前	30		1			○		
	子育て支援演習	4前	30		1			○		
	保育相談支援	3前	30		1			○		
	保育相談	3前	30		2		○			
	異文化理解と子育て	3後	30		2		○			
	児童館の機能と運営	3前	30		2		○			
	子どもと地域福祉	2後	30		2		○			
	児童館実習	3前	90		2				○	
	世代間交流	4前	30		2		○			
	子どもの生活とコミュニティ	3後	30		2		○			
	都市コミュニティ論	4前	30		2		○			
	レクリエーション概論	1前	30		2		○			
	レクリエーション演習Ⅰ	1前	30		1			○		
	レクリエーション演習Ⅱ	1後	30		1			○		
	野外活動Ⅰ	1前	30		1			○		
野外活動Ⅱ	1集中	30		1			○			

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	時間 数	単位数			授業形態			履修方法 (卒業要件)
				必修	選択	自由	講義	演習	実習・実技	
専門 教育科目	子ども 産業と 経営	施設経営論	4前	30		2		○		
		シティライフ学入門	1前	30		2		○		
		経営学総論	3前	30		2		○		
		子どもと住環境	4後	30		2		○		
		生活者のための都市計画入門	3後	30		2		○		
		NPOコミュニティビジネス論	4前	30		2		○		
		子どもマーケティング論	3後	30		2		○		
	基礎 技能と 教科	福祉と産業	3前	30		2		○		
		音楽Ⅰ	1前	30		1			○	
		音楽Ⅱ	1後	30		1			○	
		音楽Ⅲ	2前	30		1			○	
		音楽Ⅳ	2後	30		1			○	
		音楽Ⅴ	3前	30		1			○	
		リトミックⅠ	1後	30		1			○	
		リトミックⅡ	2前	30		1			○	
		図画工作Ⅰ	1前	30		1			○	
		図画工作Ⅱ	1後	30		1			○	
		幼児体育Ⅰ	2前	30		1			○	
		幼児体育Ⅱ	2後	30		1			○	
		子どもと生活研究	2後	30		1			○	
	教育・ 保育 実習	言語表現技術	2後	30		1			○	
		国語表現	3前	30		2		○		
		保育実習指導Ⅰ(保育所)	2後	30		1			○	
		保育実習Ⅰ(保育所)	2後	90		2				○
		保育実習指導Ⅰ(施設)	3前	30		1			○	
		保育実習Ⅰ(施設)	3前	90		2				○
		保育実習指導Ⅱ(保育所)	3後	30		1			○	
		保育実習Ⅱ(保育所)	3後	90		2				○
		保育実習指導Ⅲ(施設)	3後	30		1			○	
	卒業 研究	保育実習Ⅲ(施設)	3後	90		2				○
		教育実習(観察)	2後	45		1				○
		教育実習(本実習)	4前	135		3				○
		教育実習指導	2後・4前	30		1			○	
子ども理解の方法Ⅰ		3前	30	2				○		
子ども理解の方法Ⅱ	3後	30	2				○			
保育・教職実践演習(幼稚園)	4後	30		2				○		
卒業研究指導Ⅰ	4前	30	2					○		
卒業研究指導Ⅱ	4後	30	2					○		
卒業研究	4前後		4					○		
小計					20	129	0	38	53	7
合計					24	179	0	59	65	8

別表 2

子ども生活学部子ども生活学科において幼稚園教諭一種の資格を取得しようとする者は、
本表に掲げる科目をすべて履修することを要する。

教育職員免許法による教科目	授業科目の名称	授業形態	単位数	
免許取得に必要な基礎教育科目	日本国憲法	講義	2	
	スポーツと健康Ⅰ	講義	1	
	スポーツと健康Ⅱ	実技	1	
	オーラルイングリッシュⅠ	演習	1	
	オーラルイングリッシュⅡ	演習	1	
	情報処理入門Ⅰ	演習	1	
	情報処理入門Ⅱ	演習	1	
	小 計		8	
教科に関する科目	音楽Ⅰ	演習	1	
	音楽Ⅱ	演習	1	
	音楽Ⅲ	演習	1	
	音楽Ⅳ	演習	1	
	音楽Ⅴ	演習	1	
	図画工作Ⅰ	演習	1	
	図画工作Ⅱ	演習	1	
	幼児体育Ⅰ	演習	1	
	幼児体育Ⅱ	演習	1	
	子どもと生活研究	演習	1	
	国語表現	講義	2	
教職の意義に関する科目	教職概論(保育者論)	講義	2	
	教育の基礎理論に関する科目	講義	2	
教職に関する科目	教育の基礎理論に関する科目	講義	2	
	教育課程及び指導法に関する科目	発達心理学	講義	2
		教育制度	講義	2
		幼児教育課程論	講義	2
		保育内容 自然・環境	演習	1
		保育内容 健康	演習	1
		保育内容 言語	演習	1
		保育内容 身体表現	演習	1
		保育内容 造形表現	演習	1
		保育内容 音楽表現	演習	1
		保育内容 人間関係	演習	1
		保育指導法Ⅰ	演習	1
		保育指導法Ⅱ	演習	1
		保育内容総論	演習	1
		保育内容基礎演習Ⅰ	演習	1
		保育内容基礎演習Ⅱ	演習	1
		リトミックⅠ	演習	1
		リトミックⅡ	演習	1
	保育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)	講義	2	
生徒指導, 教育相談及び進路指導等に関する科目	保育相談	講義	2	
教育実習	教育実習(観察)	実習	1	
	教育実習(本実習)	実習	3	
	教育実習指導	演習	1	
教職実践演習	保育・教職実践演習(幼稚園)	演習	2	
教科又は教職に関する科目	レクリエーション概論	講義	2	
	レクリエーション演習Ⅰ	演習	1	
	レクリエーション演習Ⅱ	演習	1	
	障害児保育論	講義	2	
	フィールドワークⅠ	演習	1	
	フィールドワークⅡ	演習	1	
	小 計		5.7	
	合 計		6.5	

別表 3

子ども生活学部子ども生活学科において保育士の資格を取得しようとする者は、
本表に掲げる科目のうち、「外国語，体育以外の科目」から6単位以上、「外国語」
から2単位以上、「体育」から2単位以上を履修することを要する。

厚生労働大臣告示による教科目		宇都宮共和大学子ども生活学部における教科の開設状況			
系列	教科目	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数	
教養科目	外国語，体育以外の科目	子ども生活学概論	講義	2	
		現代の教養講座Ⅰ(いのち・こころ・からだ)	講義	2	
		現代の教養講座Ⅱ(共感・信頼・共生)	講義	2	
		生活講座Ⅰ(子どもと生活科学・食育)	講義	2	
		生活講座Ⅱ(子どもと生活文化)	講義	2	
		職業と家庭生活の設計	講義	2	
		子どもの生活史	講義	2	
		人間とは何か	講義	2	
		生活技術演習Ⅰ	演習	1	
		生活技術演習Ⅱ	演習	1	
		外国語	オーラルイングリッシュⅠ	演習	1
			オーラルイングリッシュⅡ	演習	1
	体育	スポーツと健康Ⅰ	講義	1	
		スポーツと健康Ⅱ	実技	1	
	合 計				22

別表 4

子ども生活学部子ども生活学科において保育士の資格を取得しようとする者は、
本表に掲げる科目をすべて履修することを要する。

厚生労働大臣告示別表第1による教科目		宇都宮共和大学子ども生活学部における教科の開設状況			
系列	教科目	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数	
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	保育原理	講義	2	
	教育原理	教育原理	講義	2	
	児童家庭福祉	児童家庭福祉	講義	2	
	社会福祉	社会福祉	講義	2	
	相談援助	相談援助	演習	1	
	社会的養護	社会的養護	講義	2	
	保育者論	教職概論(保育者論)	講義	2	
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学Ⅰ	発達心理学	講義	2	
	保育の心理学Ⅱ	保育の心理学	演習	1	
	子どもの保健Ⅰ	子どもの保健Ⅰ	講義	2	
		子どもの保健Ⅱ	講義	2	
	子どもの保健Ⅱ	子どもの保健Ⅲ	演習	1	
	子どもの食と栄養	子どもの食と栄養Ⅰ	演習	1	
		子どもの食と栄養Ⅱ	演習	1	
保育の内容・方法に関する科目	家庭支援論	家庭支援論	講義	2	
	保育課程論	幼児教育課程論	講義	2	
	保育内容総論	保育内容総論	演習	1	
	保育内容演習		保育内容 自然・環境	演習	1
			保育内容 健康	演習	1
			保育内容 言語	演習	1
			保育内容 身体表現	演習	1
			保育内容 造形表現	演習	1
			保育内容 音楽表現	演習	1
	乳児保育		保育内容 人間関係	演習	1
			乳児保育演習Ⅰ	演習	1
	障害児保育		乳児保育演習Ⅱ	演習	1
			障害児保育Ⅰ	演習	1
		障害児保育Ⅱ	演習	1	
社会的養護内容	社会的養護内容	演習	1		
保育相談支援	保育相談支援	演習	1		
保育の表現技術	保育の表現技術	音楽Ⅰ	演習	1	
		図画工作Ⅰ	演習	1	
		幼児体育Ⅰ	演習	1	
		言語表現技術	演習	1	
保育実習	保育実習Ⅰ	保育実習Ⅰ(保育所)	実習	2	
		保育実習Ⅰ(施設)	実習	2	
	保育実習指導Ⅰ	保育実習指導Ⅰ(保育所)	演習	1	
		保育実習指導Ⅰ(施設)	演習	1	
総合演習	保育実践演習	保育・教職実践演習(幼稚園)	演習	2	
合 計				53	

別表 5

子ども生活学部子ども生活学科において保育士の資格を取得しようとする者は、本表に掲げる科目のうち、10単位以上を履修することを要する。ただし、保育実習Ⅱ(保育所)及び保育実習指導Ⅱ(保育所)、又は保育実習Ⅲ(施設)及び保育実習指導Ⅲ(施設)を履修することを要する。

厚生労働大臣告示 別表第2による教科目	宇都宮共和大学子ども生活学部における教科の開設状況等		
系列	左に対応して開設されている教科目	授業形態	選択必修
保育の本質・目的に 関する科目	家庭教育論 異文化理解と子育て 子どもと地域福祉 世代間交流 子どもの生活とコミュニティ 児童館の機能と運営 児童館実習 施設経営論	講義 講義 講義 講義 講義 講義 実習 講義	2 2 2 2 2 2 2 2
保育の対象の 理解に関する科目	家庭支援演習 発達支援論 発達臨床心理学 子育て支援演習 保育相談	演習 講義 講義 演習 講義	1 2 2 1 2
保育の内容・方法に 関する科目	障害児保育論 保育方法論(情報機器及び教材の活用を含む。) 乳児保育論 リトミックⅠ リトミックⅡ	講義 講義 講義 演習 演習	2 2 2 1 1
保育の表現技術	音楽Ⅱ 音楽Ⅲ 音楽Ⅳ 音楽Ⅴ 図画工作Ⅱ 幼児体育Ⅱ	演習 演習 演習 演習 演習 演習	1 1 1 1 1 1
保育実習	保育実習Ⅱ(保育所) 保育実習指導Ⅱ(保育所) 保育実習Ⅲ(施設) 保育実習指導Ⅲ(施設)	実習 演習 実習 演習	2 1 2 1
合 計			4 4

別表 6

子ども生活学部子ども生活学科において児童厚生一級指導員の資格を取得しようとする者は、本表に掲げる科目を履修することを要する。

児童厚生一級指導員養成課程指定科目	宇都宮共和大学子ども生活学部における教科の開設状況等			
系列	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数	必修単位数
児童の健全育成と福祉	児童家庭福祉 相談援助 家庭支援論	講義 演習 講義	2 1 2	2 1 2
児童館の機能と運営	児童館の機能と運営	講義	2	2
児童館の活動内容と指導法 (児童クラブを含む) Ⅰ 文化・表現活動等 Ⅱ 運動・野外活動等	保育内容総論	演習	1	1
	保育内容 自然・環境	演習	1	1
	保育内容 健康	演習	1	1
	保育内容 言語	演習	1	5
	保育内容 身体表現	演習	1	単位
	保育内容 造形表現	演習	1	を
	保育内容 音楽表現	演習	1	必修
	保育内容 人間関係	演習	1	を
	音楽Ⅰ	演習	1	1
	図画工作Ⅰ	演習	1	1
	幼児体育Ⅰ	演習	1	1
	言語表現技術	演習	1	1
	社会的養護	講義	2	2
	障害児保育Ⅰ	演習	1	1
障害児保育Ⅱ	演習	1	1	
保育相談支援	演習	1	1	
保育・教職実践演習(幼稚園)	演習	2	2	
児童福祉援助技術	子育て支援演習 家庭支援演習	演習 演習	1 1	1 1
地域福祉 Ⅰ 地域福祉論 Ⅱ コミュニティワーク演習	子どもと地域福祉 子どもの生活とコミュニティ 社会福祉演習Ⅱ	講義 講義 演習	2 2 2	2 2 2
児童館実習 (児童クラブを含み20日間)	保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習指導Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習指導Ⅰ(施設) 保育実習Ⅲ(施設) 保育実習指導Ⅲ(施設) 児童館実習	実習 演習 実習 演習 実習 演習 実習	2 1 2 1 2 1 2	2 1 2 1 2 1 2